

◎教育振興の経費

教育振興助成事業

学務課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

学校教育:子どもたちの豊かな人間性や生きる力をはぐくめる教育が実現しているまち

【事業の目的】

対象 経済的理由により就学が困難な生徒の保護者や、特別支援学級に就学している生徒の保護者

意図 保護者の経済的負担を軽減し、義務教育の円滑な実施を図るため。

効果 保護者が安心して生徒を就学させることができ、教育の機会均等が図られる。

【事業の内容】

(1) 教育振興助成事業

- ・ 要保護及び準要保護生徒に対して必要な扶助を行った。
- ・ 特別支援学級に就学する生徒に対して必要な扶助を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,307	20,307	19,528		779
主な支出内訳				
・ 教育振興助成事業				
要保護及び準要保護生徒扶助費 18,103				
めがね検眼・購入費	31件			585
学用品・校外活動費	334件			7,700
修学旅行費	107件			4,723
給食費	334件			1,337
通学用品費	220件			465
通学費	6件			267
新入学用品費	104件			2,382
校外活動費(宿泊)	118件			624
医療費	2件			20
特別支援教育就学奨励費 1,425				
学用品・校外活動費	23件			291
修学旅行費	5件			112
新入学用品費	8件			92
給食費	23件			46
通学費	17件			846
校外活動費(宿泊)	13件			38
主な特定財源				
・ 国県支出金 627				

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・利用者に対して制度を分かりやすく理解してもらうため、パンフレットの改善等に努めているがより一層の改善が必要と思われる。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・申請者向けのパンフレットの改善や申請書の帳票改正などを行い、利用者にわかりやすい制度づくりに努めた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・事務処理の効率化や制度設計の見直しの検討を行うことや学校関係者とのより一層の協力体制を構築する必要がある。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・各市の実施状況なども参考にしながら、より効率的な事務処理の構築を行う。また、学校関係者との打合せ等を実施し、連携を深めることにより利用者への明確な理解、対応を図っていく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 無
	経済的な理由により就学が困難な児童生徒に対して、必要な援助を行う必要がある。			
担当課長氏名:		学務課長 大澤 一則		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 無
	一定の所得範囲の中での経済的支援を行うものであり、教育の機会均等を図るうえで必要な措置である。			
担当部名	教育総務部	部長名	宮田 茂昭	